★･･･････････････････････････････★
いばらき消費生活 メールマガジン
★･･･････････････････････････････★
２０２６年１０月２７日２４４号
■□■□■□■□■□■□■□■□■□■
１．はい！相談室です
分電盤の点検商法にご注意を
２．クイズで「エシカル度チェック」キャンペーン実施中！
３．消費者教育啓発講座　受講者募集！
■□■□■□■□■□■□■□■□■□■
１．はい！相談室です
分電盤の点検商法にご注意を

【相談事例】
自宅に電話がかかってきて、「分電盤の点検に行く。」と言われたので法定点検と思い日付を決めて家に来てもらった。点検後に「長年交換していないので劣化している。漏電したら火事になる恐れがある。」と言われ、怖くなって交換工事の契約をした。その場で交換作業が行われ、代金の請求を受けたが、手持ちがないと伝えると「コンビニの ATM で下ろしてくるように。」と指示されて支払った。後日、知り合いにこのことを話すと、「法定点検は事前にハガキが届くし、身分証も持っているはずだ。金額も高いと思う。」と言われたので、電力会社に問い合わせると、「法定点検ではその場で交換させることはない。自社とは無関係な業者である。」と回答された。

【アドバイス】
分電盤や給湯器など、住宅の設備を点検するとして訪問し、不安をあおって高額な契約をさせる、いわゆる点検商法について、特にここ数年は分電盤（ブレーカー）の点検に関する相談が多く寄せられています。
分電盤を含む家庭用の電気設備については、４年に１回の法定点検が電力会社に義務付けられており、事前に書面で案内しています。また、点検後に調査員がその場で交換工事の契約をもちかけることはありません。
電話などで点検を持ちかける業者には、安易に点検させないようにしましょう。点検した場合であっても、その場で契約しないようにしましょう。
なお、特定商取引法上の訪問販売に該当する場合は、法定書面受領後８日以内であれば、クーリング・オフの対象となります。

困ったときは、早めに最寄りの消費生活センターにご相談ください。

＜参考資料＞
〇国民生活センター
「分電盤の点検商法にご注意ください－相談が各地に広がり増加しています－
https://www.kokusen.go.jp/news/data/n-20260916_2.html
〇METI/経済産業省　電気設備の点検等を装った訪問者に御注意ください
https://www.meti.go.jp/press/2024/01/20250115001/20250115001.html

・・・

https://www.pref.ibaraki.jp/seikatsukankyo/syose/navi/project/educate/r8boshuu.html

お問合せ先：茨城県消費生活センター（029-224-4722）

.....

※当メールマガジンの配信を停止したい場合は、ホームページ「いばらき消費生活なび」より配信停止の手続きを行ってください。
https://www.pref.ibaraki.jp/seikatsukankyo/syose/navi/project/mail-magazine.html
このメールに心当たりのない場合やご不明な点がある場合は、お手数ですが
mail:syose@pref.ibaraki.lg.jp までご連絡ください。

.....

■□■□■□■□■□■□■□■□■□■

【お問合せ先】
発行・編集　茨城県消費生活センター
〒310-0802　茨城県水戸市柵町１丁目３番１号
TEL：029-224-4722
FAX：029-226-9156

■□■□■□■□■□■□■□■□■□■